

案件概要書

2012年3月28日

国際協力機構 東南アジア・大洋州部 東南アジア第4課

1. 案件名（国名）

国名：カンボジア王国

案件名：シハヌークビル州病院整備計画 (Rehabilitation of Sihanouk Ville Referral Hospital)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健医療セクターの開発実績（現状）と課題

カンボジアでは1970年代からの内戦の影響で医療従事者数が激減し、医療機材や施設が破壊され、保健システム全体が壊滅的打撃を受けた。終結後、多数のドナーが保健分野を支援し、平均寿命が1998年-2008年に男性が52歳から57歳、女性が56歳から65歳に延びるなど改善が見られている。だが、これは特定疾病に対する予防ケアが集中的に実施されたためであり、依然として病院の保健サービス提供体制は脆弱で、特に地方において病院内の基本的な医療機器も整備されていない状況である。

(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

カンボジアは国家戦略開発計画（NSDP）において保健セクターを優先課題として位置付け、その課題に対応するための主要な取組として、地方の病院や保健センターなどの整備を通じた保健サービス利用の拡大を掲げている。またカンボジア保健省は地方における貧困層の健康に資する保健サービスの提供を目指す「保健セクター戦略計画(2008-2015)」(HSSP)を定めている。

本事業は急速な都市化とリゾート開発が進み、人口密度がプノンペン都、カンダール州、タケオ州に続きカンボジア国内第4位となっているプレアシハヌーク州を対象とする。同州には我が国の支援により開発が進む国内唯一の大水深港シハヌークビル港や経済特区が位置するため、今後ますます日本をはじめとする民間企業進出や国外・州外からの人口流入が予想されるが、これら急速な都市化によりHIVエイズ等の流行など保健状況悪化を引き起こすことが懸念される。

同州のトップ・リファラル病院であり、唯一緊急搬送と入院が可能な病院が、本事業対象のシハヌークビル州病院である。本病院は1964年に建設されて以降、数回の改修を経ているが、雨漏りや床の損傷等、施設の老朽化に加え、医療機材も老朽化が激しく、適切な保健サービス提供が困難な状況となっている。かかる現状に加え、近年は救急病棟のベッド占有率が176%を越え、2010年には他医療機関からの紹介が前年比128%に上るなど利用率が急増しており、病院の整備を含めた適切な保健サービス提供の体制構築が、喫緊の課題となっている。本事業は、州全体の保健状況の改善に取り組むべく、同病院を整備するものである。

(3) 保健医療セクターに対する我が国の援助方針

保健セクターは、我が国のカンボジア国別援助計画の援助重点分野「社会的弱者支援」に該当し、開発課題「基礎的保健医療サービスの質の改善」の中で保健システム全体の強化に対する支援に取り組んでいくこととして「保健システム強化プログラム」を設定している。これまでの我が国及びJICAの支援実績は以下のとおり（主要案件のみ）。

- ・「医療技術者育成システム強化プロジェクト」（2010-2014年、技プロ）
- ・「レファラル病院における医療機材維持管理システム強化プロジェクト」（2009-2014年、技プロ）
- ・「感染症対策強化計画」（予防接種）（2009年、無償）
- ・「国立、市及び州病院医療機材整備計画」（2012年、無償）

(4) 他の援助機関の対応

カンボジア保健セクターにおいては、多数のドナーが政策・制度整備や保健サービス提供体制の改善を目指す財政支援型の協力を実施している。本事業の対象であるシハヌークビル病院においては、これまでに施設の一部を仏赤十字（HIVエイズ啓発教育施設の設置・小児病棟の改修）

および Khmer HIV/AIDS と Bill Gates 財団（ラボ施設整備）等による協力が行われているが、院内のその他の施設の改修・機材整備については、いまだ資金の用途がたっていない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は急速な都市化により保健状況の悪化が懸念されるプレアシハヌーク州において、老朽化を極めるトップ・リファラル病院のシハヌークビル州病院を整備（施設建替えおよび必要な機材・設備整備）するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：プレアシハヌーク州シハヌークビル州病院

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【機材】医療機材の整備（保健省の定める基本的機材等）

【施設】シハヌークビル州病院の一部建替え（小児科棟、産婦人科棟、外科、ICU 等）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認。

3) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

(4) 事業実施体制

・実施機関/カウンターパート：保健省、シハヌークビル州病院

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類:C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：協力準備調査にて確認。

3) ジェンダー：産婦人科棟も建替え対象に含まれるため、女性への裨益効果が見込まれる。

4) 気候変動との関連：協力準備調査にて確認。

(6) 他スキーム、ドナー等との連携・役割分担：協力準備調査にて確認。

(7) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

無償案件「カンボジア国バンティエンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」（平成 16 年度）等において調達された医療機材のうち第三国の製品が含まれ、地元業者が修理困難な機材があった。

(2) 本事業への教訓

機材を選定する際には、仕様や現地の代理店の有無を十分確認する。また、先方の予算計画等を入手し、機材の効率的な維持管理が行われることを確認する。なお、機材整備に関しては、技術協力プロジェクト「レファラル病院における医療機材維持管理強化プロジェクト（2009-2014）」を実施しており、施設や機材の維持管理に関する能力向上を図ってきている。

以 上

〔別添資料〕地図

